

# 令和6年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

商工労働総務課

## 1 施設の概要等

施設名	広島県立ふくやま産業交流館		
所在地	福山市御幸町上岩成正戸 476 番5号		
設置目的	産業及び地域の振興に資する		
施設・設備	大展示室(4室)、小展示室(2室)、研修室(1室)、会議室等(6室)、駐車場(876 台)等		
指定管理者	5 期目	R 3. 4. 1～R 8. 3. 31	株式会社イズミテクノ
	4 期目	H28. 4. 1～R 3. 3. 31	株式会社オオケン
	3 期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	株式会社オオケン
	2 期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	福山商工会議所
	1 期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	福山商工会議所

## 2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	面積稼働率	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	5 期	R6	23.0%	27.4%	2.7ポイント
R5		22.8%	24.7%	△3.8ポイント	1.9ポイント (108.3%)
R4		22.5%	28.5%	△1.1ポイント	6.0ポイント (126.7%)
R3		22.5%	29.6%	6.1ポイント	7.1ポイント (131.6%)
	4 期平均 H28～R2	29.3%	23.5%	△4.8ポイント	△5.8ポイント (80.2%)
	3 期平均 H23～H27	35.0%	28.3%	△1.1ポイント	△6.7ポイント (80.9%)
	2 期平均 H20～H22	39.0%	29.4%	△7.3ポイント	△9.6ポイント (75.4%)
	1 期平均 H17～H19	—	36.7%	△3.8ポイント	—
	H16 (導入前)	—	40.5%	—	—
増減理由	コロナ禍以前に行われていた催事の再開や新規催事の増により、目標を上回った。				

## 3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	○アンケートの実施	○施設利用者（主催者）70 団体
	○意見箱の設置	○91 件回収
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	ホール裏に凹凸があり台車で物を運ぶ時に危ない	大ホール裏および駐車場入り口の路面の凹凸を解消する舗装工事を行った。
	研修室の電気容量が少ない	電気回路を増設し電気容量を拡張した。
	研修室のイスのキャスターが痛んでいる	研修室用椅子の入替えを実施した。
女性用トイレが暗い	女性用トイレに照明を増設した。	

## 4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 利用状況報告書、収受計算書、面積稼働率
	日報 (必要随時)	○ 必要時に電話もしくはメールで確認
管理運営会議 (計 12 回・現地)	<b>【特記事項等】</b> 毎月 1 回以上各部門の代表者で集まり運営状況や課題の共有 <b>【指定管理者の意見】</b> 利用者の利便性の向上や快適な環境を保持するため、施設・設備機器の更新や修繕等について県と連携を取りながら対応する。 <b>【県の対応】</b> 長期保全計画を基本に、施設の実態を踏まえた上で安全面や利用者の利便性を優先して修繕等を実施する。	
現地調査 (随時)		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	5期	R6		10,397		1,442	5期	R6	
R5			8,955	1,404	R5			112,507	△13,611
R4			7,551	7,551	R4			126,118	3,630
R3			—	△14,553	R3			122,488	23,110
	4期平均 H28～R2		14,553	14,553		4期平均 H28～R2		99,378	△16,910
	3期平均 H23～H27		—	△5,416		3期平均 H23～H27		116,288	8,969
	2期平均 H20～H22		5,416	5,416		2期平均 H20～H22		107,319	△34,894
	1期平均 H17～H19		—	—		1期平均 H17～H19		142,213	1,478
	H16 (導入前)		—	—		H16 (導入前)		140,735	—

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R6 決算額	R5 決算額	前年度差	主な増減理由等
収入	県委託料	10,397	8,955	1,442	電気・重油の単価上昇による委託料の増
	料金収入	118,914	112,508	6,406	コロナ禍以前の催事の再開や新規催事の増
	その他収入	1,963	1,719	244	自販機手数料等の増
	計(A)	131,274	123,182	8,092	
支出	人件費	24,774	25,187	△413	人事異動等による減
	光熱水費	28,233	26,754	1,479	電気・重油単価の上昇による増
	設備等保守点検費	19,800	19,800	0	
	清掃・警備費等	23,590	23,645	△55	
	施設維持修繕費	4,071	3,108	963	修繕件数の増
	事務局費	7,378	5,948	1,430	備品購入費等の増
	その他	11,938	11,368	570	利用促進費の増
	計(B)	119,784	115,810	3,974	
収支①(A-B)		11,490	7,372	4,118	
自主事業 (※2)	収入(C)	1,045	444	601	定期講座回数の増に伴う受講料収入及び会場利用費の増
	支出(D)	3,829	1,904	1,926	
	収支②(C-D)	△2,784	△1,460	△1,324	
合計収支(①+②)		8,706	5,912	2,794	変動納付金 7,835 千円

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画、主な取組、新たな取組など)	県の評価
施設の効用発揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	主催者や来場者へのアンケートの意見を反映した施設運営に努めた。また、利用促進事業として「ゆめフェスタ」を行うなど施設の認知度向上を行い産業及び地域の振興に資することに努めた。	利用者が快適に施設を利用できるよう、ニーズの把握や改善を行いながら、適切な管理運営を行うことができている。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	大型イベントの際、隣接する病院の駐車場を臨時的に使用できるよう調整を行い、駐車場不足の緩和に努めた。	地道な営業活動やイベントの開催を通じたPRを行うなど、施設の利用促進のための取り組みを着実にやっている。
	○業務の実施による、施設の利用促進	営業活動に力を入れ、過去の利用団体への訪問や各地域の商工会議所等へのチラシの設置を依頼するとともに、新たな客層及び地域住民がより来館・参加できる取組として利用促進事業として防災と安全をテーマとしたイベントを開催した。	
	○施設の維持管理	利用者の安全確保のため、常駐職員による日常点検実施のほか、委託業者などの関係者と緊密に連携を取り、修繕必要箇所には、早急に対応することなどにより施設の維持管理に努めた。	
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	開館日は館長もしくは副館長が在籍し、責任者が対応できる勤務体制を確保した。	省エネへの取り組みや修繕工事を自社施工で行うことによる経費の削減など、効率的な業務運営に努めている。
	○効率的な業務運営	毎月、指定管理者本社を交え利用状況や課題の共有を行うことで施設の効率的な運営に努めた。また、業務マニュアルを現在の利用に即したものに刷新し質の高いサービスを提供できるよう努めた。	
	○収支の適正	利用状況・日中の寒暖差に応じた空調の設定などにより電気使用量の削減を図った。また、修繕に関しても可能な限り自社施工を行うことで経費の削減を行った。	
総括		<p>営業活動やお客様への声掛け等が、コロナ禍以前の催事の再開や新規催事の増につながり、一般利用が前年度を上回るとともに、面積稼働率も目標値を上回った。</p> <p>利用者サービスの向上に努め、業務内容を見直すことで、収支の適正化に努めた。今後も利用者ニーズを把握しながら利用者増と魅力ある施設づくりを行う。</p>	積極的な営業活動等を通じて面積稼働率の目標値を達成するとともに、修繕工事を自社施工で行うなど経費削減に努めており、適切な管理運営を行っている。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
<p>短期的な対応 (令和7年度)</p>	<p>各種団体・企業への積極的な営業活動や自主事業の取組により施設利用率を向上させる。</p> <p>修繕については安全面や利用者の支障をきたすものを最優先に実施し適正に管理していく。</p>	<p>指定管理者との連携により、安全面や利用者の利便性を優先して修繕を実施していく。</p>
<p>中期的な対応</p>	<p>施設設置後20年以上経過し、設備の経年劣化が予想される。利用者の安全性を確保するとともに利用に支障をきたすことがないように、計画的な維持管理に努める。</p>	<p>施設の長寿命化に向けて、大規模修繕を計画的に実施していく。</p>